

やっぱり目標は元気でいること。

みんなと仲良く、今の暮らしを続けたい

大阪〈ゆうゆうの里〉 宮脇道子様(82歳) 令和5年6月 一人入居



3歳の時に家族と満州から引き揚げてきました

父が満州の満州鉄道に勤めていたので、私は奉天の生まれです。

3歳ぐらいに日本に帰って来ました。帰国後父は梅田の繊維の卸売会社を営み、私たち姉妹3人は穏やかに過ごしました。母は専業主婦でしたが、日本に帰ってから洋裁を習いたいと、本格的な洋裁学校に通い、娘たち3人の服を作ったり、自分の服を作ったりしていました。母はお洒落することが好きでモダンな人でした。お正月用に母は百貨店で榮太郎の黒豆や外国製のハムなどを買ってきてくれ

たりしました。難波で一緒に百貨店巡りをしたのは良い思い出です。

お見合いで優しい主人と出会いました

ずっと、独身でいようと思っていた時期もありましたが、一人で生活するよりも家族ができた方がよいと思い、お見合いをする事になりました。主人は優しく怒らない人でした。息子が二人おり、下の子が生後6カ月ぐらいでリンパ肉腫のがんになり、病院や家で治療していました。昔の小児科は親が付き添うのが当たり前で、いつも私が付き添って不在にするので、主人や上の息子は大変だったと思

います。主人の祖母が夕食をいつも届けてくれていました。下の子は手を尽くした甲斐もなく亡くなり、それからは3人の生活が始まりました。

私は、今でも大の旅行好きですが、主人には感謝しています。主人は旅行がそこまで好きではなかったこともありすが、寛大にも「友達とどこでも行ってきたくていいよ」言ってくれました。そのおかげで海外旅行にも行けました。

「あなたも来たら」と友人が誘ってくれ入居を決めました

老後のことを考えたのは主人が



イギリス・ロンドン、ウェストミンスター宮殿前で



北アフリカ・チュニジアの遺跡を巡る旅



亡くなってからです。自分ひとりで生活してはいたんですが、いざれ歳をとって、あまり動けなくなつた時に、息子の世話にはなれないと思ひました。長年の友人が大阪〈ゆうゆうの里〉に入居していて、「あなたも来たら!」と誘ってくれたので入居を決めました。息子には事後報告でした(笑)。「友人も入居していて、体験入居して安心できたから」と伝えると、「そっか!」と了承してくれました。ずっと主人は、家の事は私任せでしたので、何でも自分で決めてきました。ですから入居に関しても同じです。息子は助かったんじゃないでしょうか。

入居する前に、ほとんどのものを処分しましたが、洋服や靴は持ってきたという希望があり、それを収納できるようお部屋選びにはこだわりました。こだわって良かったなと満足しています。入居してから、コーラスサーク

ルに入り、アスレチックジムも利用しています。ジムでは汗をかくて気持ち良いです。おかげで、出かけや部屋のお掃除をする時も、体も軽い感じがして動きやすいです。それに同じグループで仲良くなれるのも楽しいです。ジムやサークルのおかげでお友達ができました。

ともかく、ここは駅前で便利。いろんな方と交流ができて面白く生活しています

駅に隣接の京阪百貨店の中に、NHKカルチャー教室がありそ

こに通っています。食べる事が好きなので、教室の「美味探訪」というクラスに入っています。月に一回美味しいものを食べに行くのが楽しみ。そのクラスの中に守口市の方がおられて、施設の外でもお友達がたくさんできました。入居前に住んでいた寝屋川のお友達とも交流があります。こうして、いろいろな方と面白く生活しています。こちらに来てからできたお友達グループでは、ほぼ月に一回、誰かが誕生日を迎えるのでお祝いの会をしています。

この立地ですから、そういった

会にもすぐ行けます。また、ひとりでも気軽に京都や難波や奈良に行くのも楽しいです。紅葉や桜を観にどこへでも行きます。

大の旅行好きですから、今年のスケジュールも決まっています

私はやはり旅が好き。やっぱり違う国に行けば、色んな景色や、いろんな人がいて異文化を感じる事ができます。英会話を一緒に習っていた友人と海外に行く事が多いのですが、二人で現地の方と喋るのが楽しいです。私が色々と

聞いて友人が訳してくれるという役割になっています。

気に入った場所はいっぱいあるのですが、最近ではドロミテという北部イタリアに広がる山岳地方の景観がとても良かったです。こちらに入居してからはイギリスとチュニジアに行きました。昨年の秋はベネチアに。今年はポルトガルに行く予定です。足腰が元気なまま行きたいと思っています。

これからの目標ですか？何より元気であることが一番。みんなと仲良く今の暮らしを続けたいですね。